

平成30年度当初予算 警察本部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 県内の治安情勢は、昨年、刑法犯認知件数は戦後最少となり、交通事故の発生件数、負傷者数も減少し、特に死者数については統計データのある昭和31年以降最少となるなど、数値の上では一定の改善がみられる。しかしながら、子供や女性が被害者となる凶悪事件が依然として発生し、特殊詐欺や交通死亡事故等の県民の生活を脅かす事件や事故が日々発生するなど、安全で安心して暮らせる石川の実現のために警察が果たすべき課題は多い。
- ・ こうした状況を踏まえ、犯罪及び交通事故の抑止・検挙対策を引き続き推進するとともに、警察施設や装備等、治安基盤の充実強化に取り組む。

◎重点主要施策の概要

- 国内外からの来県者が安全安心を実感できる環境を整備し、組織犯罪の流入やテロの脅威等への対策などの各種治安対策を組織的・計画的に推進する。
- 初動警察活動における事態対処能力を強化し、地域の実態に即した街頭活動の強化を図り、地域社会と一体となった犯罪抑止対策を推進する。
- 人身の安全を早急に確保する必要が認められる事案への対策、少年の非行防止対策及び少年や児童の安全確保・福祉犯被害防止等の総合的な保護対策を推進する。
- 新たな司法制度への対応・客観証拠の収集・科学技術の活用・捜査支援分析体制の充実等により、県民の生活を脅かす犯罪を徹底検挙し、安全安心を確保する。
- 超高齢社会を見据えた交通安全教育など、地域の実情を踏まえたきめ細やかな交通事故抑止対策を強化するとともに、安全で円滑な交通環境の実現を図る。
- 対処能力の向上を図り、テロ・自然災害等の緊急事態への対応を推進するとともに、「第17回日本スカウトジャンボリー」に伴う大規模警備に万全を期す。
- 優秀な人材の育成・確保、警察署庁舎の建設や警察車両の整備等、人的・物的基盤の充実強化を図るとともに、県民の立場に立った警察活動を推進する。

平成30年度当初予算 警察本部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
身近な安全・安心が確保された社会づくり		
1 交流人口の拡大等に伴う治安対策の推進		
(1) 犯罪情勢の変化に対応した検挙活動の推進		
・ 特殊詐欺予防対策の推進	6,057	特殊詐欺予防対策の実施 ・ 特殊詐欺被害防止コールセンター委託 ・ ⑩金融機関へのFAX一斉送信
・ 検挙力及び事態対処能力の強化	2,039	突入用耐刃防護衣整備
(2) JR金沢駅周辺、観光地における犯罪抑止・雑踏対策		
・ 風俗実態の徹底把握と違法営業の厳正な取締	6,844	片町街頭防犯カメラシステムの運用
(3) 訪日外国人等の急増への対応		
・ 外国人とのコミュニケーションの円滑化への取組	2,700	国際捜査官の通訳力向上研修の実施など
2 犯罪の起きにくい社会づくりの推進		
(1) 安全・安心まちづくりの推進		
・ 地域の情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進	3,060	安全情報の提供、防犯ボランティア講習会の開催など
・ 特殊詐欺予防対策の推進	6,057	特殊詐欺予防対策の実施(再掲) ・ 特殊詐欺被害防止コールセンター委託 ・ ⑩金融機関へのFAX一斉送信
・ 総合的なサイバー犯罪対策の推進	4,834	⑪サイバー犯罪対策技術者養成など
・ 適正な許可等業務の推進	6,426	風俗営業所管理者講習の実施など
(2) 精強な地域警察の構築及び街頭活動の推進		
・ 通信指令機能の強化	263,821	通信指令システム、デジタル無線システムの運用など
・ 警察機動力の確保	92,360	小型警ら車、交通取締四輪車等の更新整備、 県警ヘリコプター、警備艇の定期点検など
・ 積極的な街頭活動等の推進	23,133	盗難車両等照会システムの運用など
3 人身の安全を確保するための取組と少年の非行防止・ 保護総合対策の推進		
・ 非行少年を生まない社会づくりの一層の推進	5,218	少年補導員等の活動支援、非行少年の立ち直り支援
・ 少年非行防止教室の開催	2,595	ピュアキッズスクール・薬物乱用防止教室の開催
4 県民の生活を脅かす犯罪の徹底検挙		
(1) 暴力団犯罪を始めとする組織犯罪の徹底検挙		
・ 暴力団犯罪の徹底検挙及び暴力団排除活動の推進	5,072	暴力団対策責任者講習の実施など
・ 国際犯罪の徹底検挙	7,194	国際捜査官の通訳力向上研修の実施など(一部再掲)
(2) 検挙力の強化		
・ 効果的な捜査支援の推進	45,333	捜査支援資機材の整備など
・ 新たな刑事司法制度に対応した警察捜査の推進	3,886	⑫取調べ録音・録画装置整備
・ 犯罪の高度化・複雑化等に対応するための科学 技術の活用	90,064	DNA型鑑定等の鑑定試料分析機器の運用など

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
5 交通死亡事故等の抑止と安全で円滑な交通環境の実現		
(1) 交通死亡事故等抑止対策の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教育の推進 	9,518	交通安全教育、高齢運転者対策の推進 ・ 高齢者対象の体験・実践型自動車運転講習の委託実施 ・ 高校生交通安全フォーラムの開催など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進 	18,835	飲酒運転、著しい速度超過など悪質性・危険性の高い違反に重点を置いた交通指導取締りの推進 ・ レーダースピードメーターの整備など
(2) 安全で円滑な交通環境の実現		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全施設整備事業の重点的、効果的かつ効率的な推進 	594,525	交通管制システム、交通信号機、道路標識、道路標示の整備 ・ 交通管制システムの更新整備
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な駐車対策の推進 	7,337	放置車両確認事務の委託、同管理システムの運用
6 多様化する脅威と自然災害等の緊急事態への対策の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態対策の推進 	6,580	災害対策訓練の実施、ヘリコプター・テレビシステムの運用、災害警備活動用装備資機材の充実など ・ 非常用食糧の計画配備、火山対策装備の整備など
7 警察力の充実強化と県民の立場に立った警察活動の推進		
(1) 現場執行力・治安維持体制の充実強化		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 若手警察官の早期戦力化と幹部の指揮能力向上 	6,438	指導能力向上を図る研修会の実施、術科防具の整備など
(2) 警察活動の拠点となる警察施設の計画的整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察署庁舎建設費 	696,439	寺井警察署庁舎の移転整備(平成30年秋完成予定)
(3) 県民の立場に立った警察活動の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察署協議会運営費 	5,621	地域の実情に即した警察署協議会の開催
<ul style="list-style-type: none"> ・ きめ細やかな被害者支援活動の推進 	5,620	犯罪被害者の負担軽減及び広報相談活動の実施、支援